

森 知

～須崎地区森林組合広報～



- 02 平成28年度 決算報告 あいさつ 地籍調査とは？
- 03 決算報告書
- 04 高知県林業安全大会 新入社員の紹介
- 05 第959回市 高知県森連 高幡共販所
- 06 ～機械化への取組み～ シリーズ第3回目
- 08 大石智和くん永年勤続表彰 他

決算報告あいさつ

平成29年6月21日に総代会を開催し、提出議案すべてが可決承認されました。

平成28年度組合経営としては、当地域の林業の再生には林道等の路網整備を推進し、搬出コストの低減等を図ることが不可欠であるという観点から、土木業者の協力を得、大型トラクタの入る基幹作業道の開設に着手しました。

また、幅員2.9m以下の高管路網を開設し、収入間伐を実施した一部の現場では、一定の精算金を支払うことができました。販売部門の収入間伐については、販売コストを抑えるため、1㎡あたり8,000円未満の木材を現場で選別し、直接土佐グリーンパワー火力発電所に輸送しました。このように、極立料、販売手数料の削減に努め、組合員の方々に少しでも還元できるように努力いたしました。

買取林産については柵卸として残っていた山林を皆伐し清算いたしました。これにより固定化しておりました短期借入金を繰り上げ償還することができました。

利用部門の地籍調査事業につきましては、3市町との委託契約により本年度も5.1km²の事業を実施いたしました。このように中期経営計画に沿って進捗管理を徹底し、事業実施精度を向上させ、黒字安定経営を目指し役職員一丸となって努力したことに伴い当期剰余金は計画を上回る結果を得ることができました。

しかし、まだ経営上必要な運転資金が内部留保されていないため、借入金の返済が先決ですので、本年度も出資配当はご容赦をお願いしたいと思います。

今後も、問題意識を持ち、組合経営上の問題点を少しずつ改善していきたいと考えていますので、組合員の皆様のご指導ご協力のほど、よろしく申し上げます。

総合貸借対照表 (自平成28年4月1日～至平成29年3月31日)

(単位:円)

資産の部			負債の部		
流動資産	現金	433,199	流動負債	買掛金	476,416
	預金	85,632,040		短期借入金	96,942,022
	売掛金	3,595,747		未払金	134,577,585
	棚卸資産	33,083,814		未払法人税等	7,880,300
	前払費用	1,173,640		預り金	8,616,603
	未収金	92,076,845		受託販売預り金	15,356,480
	その他	13,112,969		受託販売預り金(みどり)	1,463,771
小計	229,108,254	前受金	1,370,200		
固定資産	有形固定資産	273,989,962	固定負債	小計	266,683,377
	無形固定資産	402,350		長期借入金	34,825,000
	外部出資金	37,501,500		退職給付引当金	29,330,340
	その他	10,169,816			
	小計	322,063,628		小計	64,155,340
合計	551,171,882	純資産の部			
資本			出資金	115,736,000	
			利益剰余金	102,597,165	
			資本準備金	2,000,000	
			小計	220,333,165	
	合計	551,171,882			

損益計算書 (自平成28年4月1日～至平成29年3月31日)

(単位:円)

科目	小計	合計	指導	販売	加工	森林整備
事業総損益	事業総収益	298,836,682	0	52,784,642	6,164,459	239,887,581
	事業総費用	173,073,440	3,670,166	25,512,352	5,385,246	138,505,676
	事業総利益		125,763,242	△3,670,166	27,272,290	779,213
事業損益	事業管理費	102,599,016	3,269,928	9,528,674	2,587,978	87,212,436
	事業利益	23,164,226	△6,940,094	17,743,616	△1,808,765	14,169,469
経常損益	事業外収益	3,392,150				
	事業外費用	2,571,094				
	事業外損益		821,056			
特別損益	経常利益		23,985,282			
	特別利益	29,198,602				
	特別損失	18,093,654				
	特別損益		11,104,948			
法人税		9,732,600				
当期剰余金		25,357,630				
前期繰越剰余金		20,671,501				
役員退任慰労積立金取崩額		57,500				
当期末処分剰余金		46,086,631				

剰余金処分案 (平成28年度)

(単位:円)

摘要	内訳	小計	合計
I. 当期末処分剰余金			46,086,631
II. 剰余金処分額			
1. 法定準備金		5,100,000	
2. 任意積立金			
(1) 損失補填積立金			
(2) 役員退任慰労積立金		489,261	
III. 次期繰越剰余金			5,589,261
			40,497,370

地籍調査とは？

平成24年度から地籍調査事業に参入しています。

目的

筆界(境界)の明確化です。(法務局に備え付けられている地図の多くは、明治時代の地租改正によって作られた地図をもとにしたもので、土地の境界が不明確であったり、測量も不正確であったりする場合があることが実態です。)

調査内容

所有者ごとの土地について、隣接所有者と境界の確認をして、杭の設置、測量を行い、その結果を元に地図を作成し登記します。



地籍調査の効果

不動産登記の精度が高まり、個人の土地の所有の権利が明確化され、その後の土地取引の円滑化や行政の効率化に役立つことが期待されます。

調査を遂行するにあたって、調査区はもちろん、その隣接区を含めた住民の皆さんのご協力も必要ですので、ご理解とご協力のほどよろしく申し上げます。



調査実績

市町村		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度予定
中土佐町	地区	久礼の一部	久礼の一部	久礼の一部	久礼の一部	久礼の一部	久礼の一部
	調査面積	約419ha	約405ha	約115ha	約224ha	約311ha	約97ha
須崎市	地区		城山地区	上分地区	上分地区	上分地区	上分地区
	調査面積		約54ha	約165ha	約44ha	約199ha	約243ha
土佐市	地区				甲原地区	甲原地区	甲原地区
	調査面積				約64ha		約79ha

単位:円

材長	樹種	杉				桧			
	径級	直	小曲	曲	大曲	直	小曲	曲	大曲
4m	6~8cm	9,000		8,000		12,000		10,000	
	9~12cm	9,000		8,000		11,000		11,000	
	13cm					14,000			
	14~16cm	10,500	8,500	7,700		18,200	15,000	10,000	
	18~22cm	14,000	11,000	9,200		16,800	15,000	14,500	
	24~28cm	14,000	11,500			17,000	15,000	14,500	
3m	6~8cm					10,000	8,500		
	9~12cm	8,000		8,000		10,500	10,500	7,850	
	13cm					11,000	9,000		
	14~16cm	13,000	10,000	6,650		16,500	14,000	10,500	
	18~22cm	13,000	11,000	8,000		15,500			
	24~28cm	13,000	11,000			16,000	15,000	10,500	
2m	13cm下	4,000				4,000			
	14~16cm	4,000				8,000			
	18~22cm	4,000		4,000		8,000			
	24~28cm	6,000		4,000		11,000	10,000	8,500	
6m	16cm	18,000				20,000			
	18~20cm	20,000	18,000			24,000	22,000	18,000	

○スギ、ヒノキともに3m4mで、直材になるような造材をお願いいたします。
 ○6mにつきましては、直材18~20cm中心の造材をお願いします。また、元玉を除く全ての出荷材に6cm~10cm程度の余尺を入れて下さい。
 ○40~60年生程度の一般材もしくは末口直径34cm以下の材については元の根張りをはずした造材をお願いします。この様な材で根張りのきつい材は価格が安くなります。

9月以降の市況について

製品市況は依然として良くなる兆しが見えませんが、4月以降の出荷量減少が7月に入り影響がはじめてきています。虫害の季節に仕入れを控えて、それまでに仕入れていた原木在庫を減少させる方向で動いていた製材所も、出荷量の減少により原木調達に苦労したため、8月に入り無い物高傾向に転じてきた市場もあります。今後は台風等の影響により出荷量が増加しなければ原木単価は高値になる可能性があります。

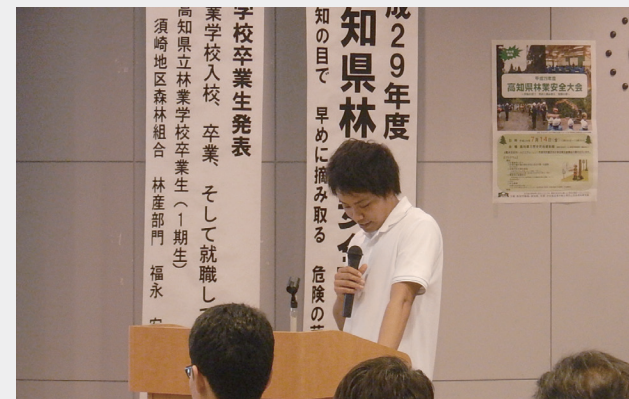


**高幡地区森林組合
ブロック協議会開催**
 平成29年7月28日に中土佐町・須崎市で高幡地区森林組合ブロック協議会(須崎地区・津野町・四万十町・梶原町の4つの森林組合で構成)を開催いたしました。
 中土佐町のパークゴルフ場でレクリエーションを行い交流を図りました。優勝は梶原町森林組合Aチームでした。レクリエーションでパークゴルフという新たな企画でしたが、皆さん楽しんでいただけたようです。
 その後は、須崎市の道の駅で造林部会・林産部会・総務部会で意見交換を行い、総会を行いました。

高知県林業安全大会



当日はたくさんの方が参加されました



当組合の福永君の発表風景

『高知県林業安全大会』に林業学校第1期生(H27年度卒業)の代表として、当組合の福永君が高知労働局より選ばれ、大会会場のある南国市岡豊町で発表してきました。
 タイトルは「林業学校入校、卒業、そして就職して思う事」。これに沿って林業学校時代の話や当組合の津野班に配属されてからの事、労働災害について思う事など、1000人を越える観衆の中、若さあふれる頼もしい発表をしてくれました。
 「緊張、ハンパなかったけど、話した後の達成感も最高です！」と講話が終わった直後の感想。これからの当森林組合発展に期待が持てます。

新規採用者のご紹介

当森林組合に新しく担い手が

入りました。

5月より、運転手として当森林組合の仲間に入りました野島さん。
 現在、林業機械運転のため、研修・講習の日々です。野島さんの仕事は、「須崎地区森林組合」と大きく書かれたトラックに乗って、皆さんの山の木を市場などに運んだり、重機の回送をする仕事です。少々怖い顔つきですが、笑顔がステキです！(笑)
 どこかで見掛けたら、声をかけてあげてください。



安全運転で地元の林業発展のために沢山木を運びます！よろしくをお願いします。

H型架線集材用機械

(4胴式集材機)

Q この設備はいったいどうなっちゃうのよ?

A これはねえ、広域の山を「どかつと!!」間伐するときに活躍するがよ。

谷を挟んだ山頂と山頂に太いワイヤーロープを2本渡してその2本の間を細い別のワイヤーでつなぎ、真上から見ると「H」型の架線を作る。

P6 イラスト参照



①本線が谷をまたぐ時の一番最初はラジコン飛行機に軽いバンダーひもを付けて向かいの山頂まで飛ばし、滑車を使って徐々にひもをため最後に何トンもある本線につなげる。

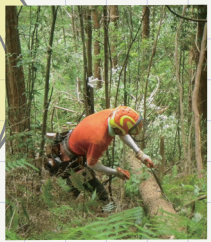


②恐ろしいくらいの荷重がかかる本線を1本の立木と控えのワイヤーで支える。

お-----!!!!
本線は長い距離で1,000mもあるのか!!

本線が向山の山頂に渡っている状況

集材機と呼ばれる機械にガッツリ付いているドラムでワイヤーを巻いたり出したりして架線下に広がる木を取りに行き、宙吊りにした木を集積場に運ぶ。



③伐った木を頭上から下りてくるワイヤーに結ぶ



④無線を頼りに集材機の4つのドラムから出ているワイヤーを操作し宙吊りにした木材を移動させる



⑤宙吊りのまま集積場に運ばれる

集材機で操る大規模なUFOキャッチャーだねえ

まるごと1本の状態で谷まで運んでこられた木は、プロセッサによって出荷用に造材され、木材市場へと運ばれていきます。



⑥プロセッサで木材出荷用に造材



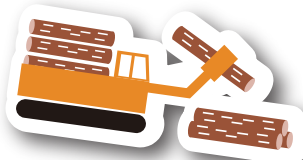
⑦大量に出る枝葉はバイオマス燃料として出荷される

設備作りは大変やけど、その後の集材から搬出までは「あっちゅうま!!」にできるねえ!

H型架線導入によって、

- 広範囲の山を一度の設備でどかつと出荷用に間伐でき、大幅に生産量を増やせます。
(本線が1本の通常架線集材比較)
- 作業道を簡単に開設できないような急斜面の木も出荷できます。
- 設備が整えば、第一線で働く人の身体的負担が少なく労災の発生率もぐんと下がります。
- 木が1本まるごと集材されるので、こずえ部や枝などをバイオマス燃料として出荷できます。

これからも、当組合では「山主さんへの還元増大、地域林業の発展、山で働く人達への報奨等の充実」を目指して機械化を進め、健全な森林を育てていきます。次回は「スイングヤーダ」を紹介します。



近年の林業は機械化が進み、従来までのチェーンソーと人力で行われていた、いわゆる3K(きつい、汚い、危険)の作業をできるだけ減らした作業環境へと変わっています。

当森林組合も経営の状況、木材生産の見通し、担い手の育成などを考慮しつつ機械化を行っています。工程を機械化することで、木材生産量の増加、コストの削減を行い、山主さんへの還元増加につなげると同時に、『良い山』を育んでいくことが、われわれの重要な責務と考えております。

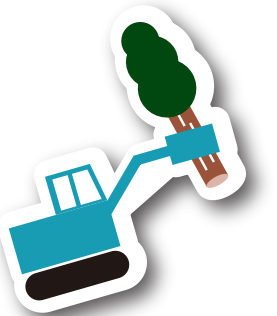
ここでは間伐した木材を山から出荷する、『搬出間伐』で使用する※高性能林業機械をシリーズ化し紹介していきます。

第1回目は『ハーベスタ』(伐倒造材機械)、第2回目は『フレアーバンチャー』(ザウルスロボ) (掘削伐倒機械) を紹介しました。

今回は、高性能林業機械ではないですが、大規模架線集材システム(H型架線) を紹介します。

当組合は、希望の方には現場見学なども行なっていますので、不明な点やご質問があれば、いつでもお問合せください。

※2つ以上の作業を1つの機体でできる林業機械



今回紹介するのはこの設備!!



大石智和くん 永年勤続表彰



当組合の大石智和くんが高知県森林組合連合会長より永年勤続表彰（作業班員）を頂きました。

この表彰は林業就労年数10年を迎える県下の森林組合従事者が戴く名誉ある賞です。

大石くんは当組合で「大和班」として、バディーを組んでいる田口くんと二人で、森林整備を行っているます。主な内容としては作業道開設や搬出間伐に取り組み、森林の保全・育成・価値向上に取り組んでいます。

これからも無事故・無災害、ステキな先輩として林業を盛り上げて行って下さい！



道の駅なかとさで

木工品販売開始！



中土佐町初の道の駅がついにオープン。

平成29年7月15日(土)にグランドオープンした「道の駅なかとさ」で木工品を販売しております。杉・ヒノキの間伐材を中心とした木の香る製品を多数並べております。ぜひ、お誘い合わせの上お立ち寄り下さい。(まるなか須崎店＝黒潮市場＝でも販売しております。)



コンパクトなブースですがしっかりと木工品をアピールしています

編集後記

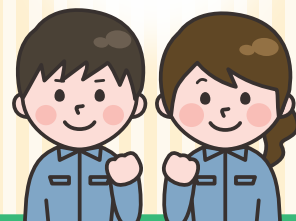
今回は平成28年度決算、第3回目の高性能林業機械の紹介、新人紹介、地籍調査事業、木材市況等の記事を掲載いたしました。これからも組合員さんや地域社会に貢献ができるようにがんばりたいと思いますので、よろしくお願ひします。

(谷)

〒785-0024 高知県須崎市安和925番地
須崎地区森林組合 総務係

TEL 0889-43-0030
FAX 0889-43-0031

林業技術員 募集 のお知らせ



須崎地区森林組合は林業技術員を募集しております。経験・未経験問いませんので、林業に興味のある方、一緒に働きませんか。

問い合わせ先

須崎地区森林組合
電話 0889-43-0030
担当 (谷)

お知らせ



当森林組合では、平成29年11月16日(木)～11月17日(金)の日程で視察研修を予定しております。この期間中は、現場作業も休みになり組合員の皆様にご迷惑をお掛けする事もあると思いますが、ご協力をお願いいたします。なお、ウッドショップ森林は通常どおり営業しております。